

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 040	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 ヒートポンプの除湿利用による高品質生産技術の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 燃油価格高騰のおりヒートポンプ導入がすみ加温時の利用が進んだ。また、夏季に夜冷による品質向上にも利活用が進んでいる。しかし、ヒートポンプには除湿効果もあるのだが、農業生産に上手く活用されているとは言えない。 そこで、初夏や秋の長雨により湿度が高くなる時期に、病害防除や生育促進を図るためヒートポンプの除湿機能を利用した高品質栽培の実証が望まれる。 バラ、洋らん、シクラメン、カーネーションなど	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業技術センター	担当部所 生産技術部果樹花き研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	
対応の内容等 他県においてはヒートポンプを加温機としてのみではなく、夏期高温時の冷房、夏期の夜間冷房及び除湿に有効活用している事例が見られます。本県でも、導入したヒートポンプを有効活用した、高品質栽培が望まれるところであり、その技術確立は必要だと考えております。 今年度中に所内の一部温室にヒートポンプを整備する計画があることから、今後体制を整えて、課題化について検討してまいります。	
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
備考	